

＝令和元年度早川南小学校だより＝

は る き

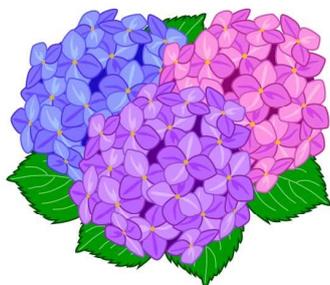


令和元年6月17日

No.12

校長 坂野 修一

雨の日、晴れの日



関東甲信越地方が6月7日(金)に梅雨入りして以来、まさに梅雨らしい陽気になっています。その梅雨の晴れ間である8日(土)と14日(金)にプール清掃や学校開放日のできたのですから、何と運が良いことか…。多くの皆様に、救急法講習会にもご参加いただきまして、本当にありがとうございました。本日、プール開きを行い、午後には、3・4年生がさっそく入りました。この夏、安全にプールが開設されますよう、どうぞご協力をお願いいたします。

さて、校長室から見える七面山の緑が濃くなってきました。梅雨の季節到来ですが、まさに深緑の季節到来でもあります。この時期の代表的な紫陽花の花も、赤や青、紫が色鮮やかになってきています。自然の植物がたくましく生長していく様は、人間にも潤いと希望を与えてくれます。その植物の生長にとってなくてはならないのが、雨の日であり晴れの日です。この時期、どちらもちょうど良いバランスで繰り返されるので幹や枝は大きくなり、葉は青々とよく生い茂ります。その分、雑草との戦いもたいへんなのですが…。

もし、雨ばかり降っていたなら、植物は根が腐り育ちません。逆に晴れの日ばかりで、人間が水を与えないでいると枯れてしまいます。つまり、植物の生長には、雨と晴れという反対のものが必要になってきます。これは、子どもたちの心の成長にも言えることです。「やさしさ」と「きびしさ」の両者がバランス良く影響することで子どもたちの豊かな心が育まれます。「やさしさ」だけでは甘えやわがママが生まれますし、逆に「きびしさ」だけでは、気持ちやすさんだりいらいらしたりします。「きびしくもやさしく、子ども一人ひとりの良さや可能性を認めながら接することが大事である」。このことに尽きると考え、学校では一人ひとりの子どもに向き合っています。

外で元気に遊ぶ子どもたちです！



本日、峡南教育事務所の所長や県教委の管理主事が来校し、子どもたちの様子を見ていきました。出席状況や健康状態を確認する出席簿や保健日誌、保健室来室記録も見ていきましたが、毎日元気に登校している様子に安心されていきました。今月は、全校児童欠席0の日が続いております。寒暖の差があり体調を崩しがちになる梅雨時にもかかわらず、保護者の皆様のお子さんへの健康管理の賜物と感謝をしているところです。

雨が降って外で遊べない校舎内では、子どもたちの過ごし方はいろいろです。本を読む子、オルガンを弾く子、五目並べに興ずる子、そして児童会の仕事に頑張る子もいれば、やり忘れた宿題課題を取り戻すべく勉強をしている子もいます。そんな子どもたち、雨が降っていない時にも室内で過ごしていると、「外で遊びな～♪」の職員の声に外で活動を始めます。異年齢で仲良く遊ぶ早川南ファミリーです。

外では、サッカーにバドミントン、ブランコにジャングルジムと、遊びのルールを決めながら楽しく遊んでいます。時にはもめごともありますが、そんな経験を通して学ぶことも多いはずで、大きなけががあっても困りますが、多少のかすり傷を作っても、外で遊べる時には大いに外で遊んでほしいと思う梅雨時の独り言です…。

